

そろばん塾が行っている新型コロナウイルス感染症への対策

そろばん塾では、随時、情報をアップデートしながら感染症対策を行ってきました。新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから 2021 年 12 月までの情報によれば、感染経路の主体は、新しい概念の「空気感染」で、「接触感染」対策は補助的に加えておくべきものと考えています。(政府・厚労省は、未だに空気感染を認めようとしませんが。) 以下が、現在、当塾が行っている感染症対策です。

- ① 先生も生徒もマスク着用で授業に臨みます。(飛沫感染、空気感染の回避)
- ② 教室には換気システムを設置してあります。さらに、CO₂測定器を置いて換気状況を確認しながら授業を行い、必要に応じて窓を開けての換気も行います。(空気感染の回避)
- ③ 冷暖房の有無に関係なく、扇風機等で風を送り、教室内の空気が滞留しないようにしています。(空気感染の回避)
- ④ 授業を行っている時間帯には、強風時を除いて、玄関のドアを完全開放しています。(玄関待合スペースでの密閉の回避)
- ⑤ クラスの入れ替え時間を10分間取り、玄関で待つ生徒と、教室から出て帰る生徒との接触機会を減らしています。(密集と密接の回避)
- ⑥ 2人掛けの机を1人掛けで使い、1クラスの定員を半分にしています。座席は、少しでも距離を広げるように、前後の縦並びを避けて、交互に左右に着席する配置です。(密集と密接の回避)
- ⑦ 教室内とトイレ内にマジックボールを設置して空間除菌を行っています。(空気清浄機や空間除菌は、換気を行っている場合には効果がありませんが、締め切った場合にも対応できるように。)
- ⑧ 玄関に消毒液を置いて、手指の消毒を行ってから入室するように生徒指導をしています。(ただし、手荒れしている場合は治すことを優先するため、消毒はしなくてよいことにしています。)
- ⑨ トイレには手拭き用のタオルを置かず、トイレ内に消毒液を置いて、手指を消毒するよう指導しています。手洗いをする場合は、外の水道でハンドソープを使って洗い、自分のハンカチで拭くように指導しています。
- ⑩ そろばん塾は不特定多数が出入りする場所ではなく、物の表面に着くウイルスの量と生存期間を考慮して、接触感染対策は、家庭用洗剤を使った拭き掃除で十分と判断し、毎日、トイレの明りのスイッチや教室の出入り口の扉など、生徒がよく触る場所を重点に掃除しています。
- ⑪ 凸凹が多いパソコンのキーボードは掃除しにくいので、ラップを巻いて、毎日交換しています。